

令和7年度上松技術専門校運営協議会 主な意見等

開催日：令和7年8月5日(火)

項 目	学科・訓練科	主な意見等	校からの回答・校の考え方
運営体制に関する こと		・指導員について、計画的な補充により、継続して訓練が行うことができる体制を整えていただきたい。 ・指導員の年齢構成のバランスについて、配慮いただきたい。 ・指導員確保のためにも、指導員のワークライフバランスの確保に努めていただきたい。	・後任者を確保して継続的に育てていかないといけない。校の一番の課題として捉えている。
		・施設、器具・訓練機械等について、計画的な修繕・更新により、訓練に支障が生じないようにしていただきたい。	・今後も計画的な修繕・更新のための予算確保に努めてまいりたい。
訓練に関すること	木工科・木材造形科共通	・訓練期間が1年では短いのではないか。1年目で基礎、2年目で応用を学ぶ等はできないか。 ・訓練期間は1年で良い。あまり長いと訓練校のやり方に染まってしまう。	・今後、第11次長野県職業能力開発計画「人材育成プラン2.0」(R3～R7)の見直しの中で、訓練科の改変やカリキュラムの見直しの検討をしてまいりたい。
		・今の時流にあった訓練科、例えばデザイン科等について検討していただきたい。	
		・上松技術専門校では比較的自由に課題を製作しているが、企業に就職した際に活用できるよう、早く、時間どおりに作業を行う訓練を取り入れる必要があるのではないか。	・訓練課題には、決められた時間で正確に一定の数を製作する課題も取り入れている。

項 目	学科・訓練科	主な意見等	校からの回答・校の考え方
就職指導に関する こと	木工科・木材造形 科共通	起業したい訓練生のために、起業した修了生の話聴く機会を設けてもよいのではないか。	・課外においても修了生と訓練生が交流する機会があり、様々な情報交換等を行っている。 ・技能講話で起業した修了生の話聴く等、今後も機会を設けてまいりたい。
		・校へ採用を希望する会社が訪問し、訓練の合間に就活PRを行うことがあるが、企業の合同一斉説明会を開催しても良いのではないか。	・現在の校の人員体制では、企業の合同一斉説明会を開催するのは困難である。現在行っている随時の企業による本校への訪問説明により、訓練生への就職情報の提供に努めてまいりたい。
技能向上・在職者 訓練に関すること		・技能向上・在職者訓練について、休日の開催であり、対応する職員の負担になっているのではないか。	・今年度から、平日に開催する講座を設けている。今後も利用者の受講の利便性と職員の負担軽減のバランスについて、検討してまいりたい。